

NewSophia

ニューソフィア

福岡学園は「口腔医学」を推進しています。

121号

[VOL.32-①]

Feb 2024

年頭挨拶

- ◆日本私立歯科大学協会歯科プレスセミナーで水田理事長が講演
- ◆福岡医療短期大学が厚生労働省補助事業「歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業」の実施団体として選定



《Greeting》—年頭挨拶—

3・4 ◆ 理事長 年頭挨拶

《Campus News》—学園の話題—

- 5 ◆ 日本私立歯科大学協会歯科プレスセミナーで水田理事長が講演
◆ 福岡医療短期大学が厚生労働省補助事業「歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業」の実施団体として選定
- 6 ◆ 田口短大学長(常務理事)がミャンマーで医療支援
- 7・8 ◆ 第16回健康まるごと福岡学園
- 9 ◆ 令和5年度公開講座を開催
- 10 ◆ 医科歯科総合病院が病院機能評価認定を更新
◆ サンシャインシティにおいてクリスマス会を開催
◆ 早良消防署が医科歯科総合病院で消防演習を実施
- 11 ◆ 医科歯科総合病院 病診連携の会を開催
◆ 口腔医学研究センター シンポジウムを開催
◆ 第50回福岡歯科大学学会総会・学術大会
- 12 ◆ 福岡歯科大学・福岡医療短期大学 オープンキャンパスを開催

《People》—学園のひと—

- 13 ◆ 福岡歯科大学長に高橋 裕氏を再任
◆ 本川 渉名誉教授が令和5年秋の叙勲受章
◆ 寺尾 隆治福岡歯科大学同窓会最高顧問が令和5年秋の叙勲受章
◆ 教員紹介

《Events》—学園行事レポート—

- 14 ◆ 情報図書館マスコットキャラクターが決定

《From Alumni》—福岡歯科大学 同窓会だより—

- 15 ◆ 学術報告(西 耕作・15期生)
◆ 同窓生からの手紙(小田 瑞恵・12期生)
- 16 ◆ クリニックからこんにちは!(吉村 理恵・5期生)
◆ 卒業生NOW(山本 エレナ・21期生)

《Affluent Voices》—みんなの声—

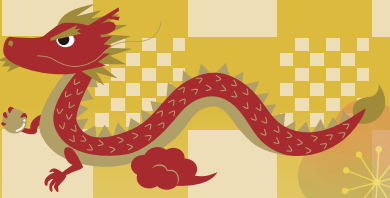
- 17 ◆ 看護大学だより
◆ 短大Voices
- 18 ◆ 学生からのメッセージ(森 亮太・福岡歯科大学 第5学年)
◆ 保護者からのメッセージ(長友 信樹・福岡歯科大学 学生後援会理事・評議員)
◆ コラム
◆ 編集後記

《Information》—お知らせ—

裏表紙 ◆ 入学者選抜日程(福岡歯科大学・福岡看護大学・福岡医療短期大学)

《表紙写真》 令和5年12月に開催された餅つき

本年も
よろしく
お願い
いたします。



令和6年1月4日撮影

年頭挨拶



令和6年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

今年の干支は、「甲辰(きのえたつ)」です。「あまねく光に照らされ、急速な成長と変化が起きる年」といわれており、目に見える表立った行いも、これまで人目に付かなかった行いも、すべてに光が当てられ、大きく変化していく年になりそうです。人によつては、これまでの努力が認められ、更なる成長を遂げる年になるかもしれませんし、人知れず頑張ってきたことや自分でも気づかなかった意外な才能が一気に開花する年になるかもしれません。

皆さんも自分の決めた目標に向かって頑張ってください。

さて、昨年の出来事を振り返ってみますと、世界では、ロシアによるウクライナ侵攻が長期化する中、イスラエルとパレスチナの間にも戦争がはじまり、民間人を巻き込んだ戦闘が続いているという悲惨なニュースが世界中に流れました。一刻も早く紛争のない平和な世の中が来ることを切に願うばかりです。

また、チャットGPTなどの生成AIを活用する動きが大きく加速しました。「AI」(Artificial Intelligence)とは人工知

それでは、本年の重点項目を述べます。

まず、「教育の質の向上」として

学修成果の評価の方針(アセスメント・ポリシー)等に基づく内部質保証活動を実践し、教育方法の改善を図る。また、歯科大学は、国家試験の合格率向上を図るほか、診療参加型臨床実習の充実により口腔医学教育を実践する。看護大学および短期大学は、国家試験の全員合格を目指す。

第二に「研究の質の向上」として

口腔医学研究センターを拠点として学園3大学の研究基盤を強化するとともに、全学的独自色を構築し、研究を活性化させる。また、適正な研究活動及び執行を実施するため、教職員的不正防止意識の向上を図る。

第三に「学生の受け入れ・支援」として

口腔医療、口腔保健、看護を志向する意欲ある優秀な学生を確保するため、大学の強みや魅力を最大限に伝えられる広報戦略を検討する。また、助言教員制度等により、個々の学生ニーズに即した修学支援体制を整備する。

第四に「社会との連携・貢献」として

安全・安心で高度な医療を推進し、地域の医療・健康維持に貢献するとともに、自治体や医療・保健・介護・福祉等の職能団体との連携並びに大学間連携による社会貢献活動を推進する。

学校法人福岡学園理事長

水田 祥代



能そのものを意味し、「人間の知的活動をコンピュータプログラムで再現したもの」を指すそうですが、今後いろいろな形で私たちの生活でも活用されてくることと思います。

国内では、福島第一原発の処理水の海洋放出が開始され、安全性の確保と風評被害への対策が問題視されました。そのほか、国内の出生数が初めて80万人を下回るといふ話題も大きなインパクトがあり、高等教育機関である本学園にも今後多大な影響を与える問題であります。

本学園に目を向けますと、第四次中期構想を策定し、今後8年間の中長期的な経営計画を定めました。この構想を達成するために、毎年度の事業計画を作成し、教職員の日々の業務目標として活用されていることと思います。その他、「健康まるごと福岡学園」(学園祭)を4年ぶりに開催するなど学園に活気も戻ってきました。

今年はいよいよ新キャンパス整備計画1期工事が始まります。令和7年7月には完成予定ですので、新本館があつという間に姿を現すのではないかと楽しみにしています。これから数年は新たなキャンパスづくりが本格化していくと思いますが、福岡学園の未来のために共に歩んでいきましょう。

第五に「組織運営」として

法人運営の透明化を図るため、理事会・評議員会の組織体制等を再評価するほか、学長のリーダーシップのもと、教育研究活動の不断の見直しを行う。また、組織力を高めるため、人材育成に努めるとともに、認証評価結果を踏まえて、適切な内部質保証体制を構築する。

最後に「財務・施設整備」として

本学園が永続的に維持・発展し、安定した財政基盤を確立するため、学園3大学においては入学定員を充足させ、医科歯科総合病院、介護老人保健施設では収支を改善させる。また、学生の学修環境充実を最優先事項として新キャンパス整備計画1期工事に着手する。

以上を重点項目としたいと思います。

この重点項目を達成することで、本学は医療・保健・福祉の総合学園として更なる発展を遂げていくこととなります。皆さんの力で本学園はどんどん良くなっていくことと信じています。

最後になりますが、本学にとっても皆さんにとっても今年が実り多き年となることを祈念して年頭の挨拶とします。



Campus News
1

日本私立歯科大学協会
歯科プレスセミナーで
水田理事長が講演

2023年10月31日、アルカディア市ヶ谷私学会館において日本私立歯科大学協会の第14回歯科プレスセミナーが開催され、水田祥代理事長が「女性歯科医師のキャリア構築と現状」をテーマに講演しました。水田理事長は、自身の経験を基に「これから女性歯科医師を目指すリケジョ（理系女子）の皆さんには、キャリアアップを図り、積極的に意思決定の場にも参加して豊かな人生を送ってほしい」と話し、「来たれリケジョ!!」と歯科大学における女子学生の獲得を呼びかけました。

また、水田理事長は現役で活躍する女性歯科医師とのパネルトークでコーディネーターを務めました。パネルトークでは、女性歯科医師3名からそれぞれのキャリアパスとライフステージについてお話いただき、働き方の実態やキャリア構築の方法、女性歯科医師がさらに働きやすくなるための環境整備などについてそれぞれの立場から意見を述べられました。



Campus News
2

福岡医療短期大学が厚生労働省補助事業
「歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等
推進事業」の実施団体として選定

福岡医療短期大学が歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業の実施団体として厚生労働省から選定されました。

この事業は、歯科衛生士の人材確保を目的として、育児・介護等によって離職していた人材の復職支援や、免許取得直後の新人に対する基本的な臨床実践能力の獲得と離職防止を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による臨地実習の経験不足を補うものです。

福岡医療短期大学では、「歯科衛生士研修支援センター」を立ち上げ、福岡歯科大学、医科歯科総合病院、歯科大学ならびに短期大学同窓会とも協力をしながら、福岡県・市歯科医師会および福岡県歯科衛生士会と連携して、臨床現場での体験学習型の研修等を実施し、歯科衛生士の人材育成に貢献していきます。2024年3月から順次研修プログラムを開催し、3月7日には「口腔内スキャナーを使いこなそう」、3月17日には「小児からの口腔育成」をテーマとした研修会を行う予定としています。

福岡医療短大歯科衛生士研修支援センターロードマップ



▲比嘉奈津美参議院議員(福岡歯科大学8期生)らと意見交換を行う水田理事長ら

田口短大学長(常務理事)が ミャンマーで医療支援

2023年6月に引き続き12月3日から8日まで、特定非営利活動法人ジャパンハートの要請で、田口 智章福岡医療短期大学長(常務理事)が、ミャンマーのヤンゴン小児病院で小児外科手術等の医療支援を行いました。

ヤンゴンはミャンマー連邦共和国の南端に位置し、人口約600万人のミャンマー第二の都市です。国の総人口が約6000万人なので、国民の約10%がこの都市に住んでいます。小児病院はヤンゴン市内のヤンゴン小児病院とヤンキン小児病院、ヤンゴン市の北800kmにあるマンダレーの小児病院の3か所しかないため、比較的スタッフの揃ったヤンゴン小児病院に小児患者が殺到しています。加えて、小児外科医をはじめとした医療スタッフの不足により、急患手術の対応で予定通りに手術を行うことができない状況が続いています。

こうした状況の中、田口学長らは、まず肝移植した3例の診察を優先し、他の検討を要する患児(肝腫瘍や胆道閉鎖)のコンサルトを受け、胆道閉鎖症3例の手術を行いました。田口学長は「胆道閉鎖症は術後2日目に濃緑色便がみられ胆汁排泄が確認されたので、これで救命できそうと胸をなでおろしました。ミャンマーでは胆道閉鎖症の診断が遅いので、このように早期診断・早期手術できると予後が良いことを示すことができました。また、今後の歯科チームの活動に備え、ヤンゴン小児病院の小児歯科の教授とコンタクトを取り、肝移植患児の口腔内写真を撮影していただきましたが、肝移植して黄疸は下がっているものの歯には着色が残っていたので、今後の課題です。病院長が血痕がん患児の口腔内ケアを希望され、今回は歯科医師や歯科衛生士・短大学生を帯同し、移植後の患児や小児がん患児の口腔ケアや歯磨き指導を行いたいと思います。教員や専攻科生の中には参加意欲の高いメンバーが揃っていますので、今後も活動の幅を広げていきます」と話しました。

また、ヤンゴン小児病院では、学校法人福岡学園・福岡歯科大学創立50周年記念歯ブラシ200本を日本から持参して医療スタッフに寄贈しました。



▲胆道閉鎖症の手術をする田口短大学長(左)
猪股熊本大学名誉教授に加えて現地若手医師が手術参加



▲小児外科教授Dr. Nyo Nyoに学校法人福岡学園・
福岡歯科大学創立50周年記念歯ブラシを寄贈



▲左からDr. Yin Mar Oo(小児外科)、猪股名誉教授、
田口短大学長、病院長Dr. Aung Tun Oo、
小児外科教授Dr. Nyo Nyo



術後濃緑色便



術前灰白色便



▲肝移植症例3
(移植後4年)



▲肝移植症例2
(移植後4年8カ月)



▲肝移植症例1
(移植後5年8カ月)

肝移植患児の口腔内写真: 黄疸は下がっても、歯の着色は顕著



▲小児歯科Zarchi Wint教授と
肝移植患児の診察



▲歯科用診療物品を寄贈

写真: ジャパンハート提供



短大企画
「地域とつながる口腔ケア」

からだの科学展



からだの不思議を
身近に体験



看護大企画
看護のせかい



おはなし隊

医科ミニ講座



歯科無料相談



かふえもりのいえ



地下鉄七隈線沿線3大学合同シンポジウム



たくさんのご来場
ありがとうございました!

第16回

健康まるごと福岡学園



学園祭
「田の歯科祭」



たくさんのグルメが並んだ
模擬店ブース



様々な催しで
盛り上がったステージ



2023年10月14日、15日の2日間、福岡学園の総合イベント「健康まるごと福岡学園」が4年ぶりに開催されました。

学生主体の学園祭「田の歯科祭」は、サンシャインシティ南側駐車場を会場にして、模擬店の出店やステージイベントが行われました。地域の子どもたちによるダンスや学生のミュージックライブに加え、お笑い芸人「あばれる君」や「チムニー」が登場するお笑いライブなどで盛り上がりました。

福岡歯科大学では、大学教員主体のイベント「からだの科学展」において、各分野教職員による科学体験型ブースが展開されたほか、学生ボランティア「おはなし隊」の絵本読み聞かせイベントも行われました。

また、福岡医療短期大学による「地域とつながる口腔ケア」では、子どもたちへの歯磨き指導や歯つびクイズが行われました。

医科歯科総合病院では、「歯科無料相談」と身近な病気をテーマにした「医科ミニ講座」が行われました。

福岡看護大学では、来場者の健康測定やリズム体操などを行う「看護のせかい」を実施しました。

介護老人保健施設サンシャインシティと介護老人福祉施設サンシャインプラザでは「介護施設見学・介護無料相談」に加えて、「コミュニティカフェ」が

ふえもりのいえ」をオープンしました。「地下鉄七隈線沿線3大学合同シンポジウム」では、「がんを怖くない」をテーマに福岡大学、中村学園大学、福岡歯科大学の各講師が講演し、公開討論が行われました。

両日とも近隣の方々をはじめとする多くの方にご来場いただき、笑顔と活気あふれる2日間となりました。

Campus News
5

令和5年度公開講座を開催

福岡医療短期大学



2023年10月29日、福岡医療短期大学303講義室およびコミュニティホール1において公開講座が開催されました。「人生を変える！腸活・口活のススメ」をテーマに、力丸哲也教授、松尾忠行教授が講演しました。特別講演では、腸内細菌研究の第一人者内藤裕二教授（京都府立医科大学大学院医学研究科生体免疫栄養学講座）が「腸内細菌叢は寿命を制御する」をテーマに講演し、集まった参加者は興味深い様子で聞き入っていました。



福岡看護大学

2023年11月

3日、福岡看護大学101講義室において福岡看護大学公開講座が開催されました。一般の方86名が参加し、福岡看護大学基礎看護学分野の青木久恵教授、門司真由美准教授、高野佳範助教が「健康のために、ちよびり改善しませんかーよく食べて、ちよびり動いてよく眠る…食事、体操、睡眠」と題して講演しました。参加者からは「栄養、睡眠、体操がいかに大切か認識できました」などの声が寄せられました。

「栄養、睡眠、体操がいかに大切か認識できました」などの声が寄せられました。



福岡歯科大学

2023年12月

2日、50周年記念講堂において福岡歯科大学公開講座「医科歯科総合病院健康講座」が開催されました。一般の方57名が参加し、第一部では、福岡看護大学／医科歯科総合病院 呼吸器・循環器内科／健診センター 得能智武教授が「健康寿命の延伸をめざした生活習慣病予防…どんな運動が効果的？」と題して講演しました。第二部では、整形外科・リハビリテーション科 理学療法士 白川心朗主任が「健康長寿を実現する運動…一緒に健康体操をしましょう」と題して健康体操を実演しました。講演会後には医療相談が行われ、参加者からは「とてもわかりやすい内容でよかったです。今後の生活の参考にします」といった声が寄せられました。

「とてもわかりやすい内容でよかったです。今後の生活の参考にします」といった声が寄せられました。





2023年12月13日、介護老人保健施設サンシャインシティでクリスマス会が開催されました。職員によるダンスの余興が行われ、ビンゴ大会では景品が当たるなど、入所者は楽しいひと時を過ごしました。



Campus News 7 サンシャインシティにおいて クリスマス会を開催

医科歯科総合病院は公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価の更新審査を受け、基準を満たす病院として認定されました。当院は5年ごとに更新審査を受け、今回で4回目の認定となりました。今後も地域の皆様に信頼され続ける病院をめざし、継続的な病院の質改善に努めていきます。



Campus News 6 医科歯科総合病院が 病院機能評価認定を更新

2023年11月8日、医科歯科総合病院において福岡市早良消防署による秋の火災予防演習が行われました。演習は、病院棟の5階から出火し、延焼の危険があるという想定で実施され、職員は指示に従い屋外へ避難し、消防署職員によるはしご車での救助演習が行われました。

また、消火器を用いた消火訓練も行い、参加した職員は火災時の対応に対する意識を高めました。

Campus News 8 早良消防署が医科歯科総合病院で 消防演習を実施



9 Campus News

医科歯科総合病院
病診連携の会を開催

2023年11月9日、50周年記念講堂において病診連携の会が開催されました。地域連携における情報交換の場として年に1回実施しており、今年は外部の病院等28施設の担当者が参加。医科歯科連携に関連した演題について講演が行われました。



● 全身疾患と外科的治療

「周術期の抗血栓療法」

呼吸器・循環器内科(福岡看護大学)教授 得能 智武

● 発達障害の診断とその対応

「小児科の立場から」

小児科・神経小児科教授 鳥巢 浩幸

「障害者歯科の立場から」

障害者歯科(スペシャルニーズ歯科)講師 天野 郁子

10 Campus News

口腔医学研究センター
シンポジウムを開催

2023年12月8日、福岡歯科大学502講義室において「口腔医学研究センターシンポジウム2023」が開催されました。口腔医学研究センターに所属する北尾洋之教授より「抗がん剤作用機序に関する基礎研究と臨床・創薬への展開」と題した特別講演が行われました。続いて「常態系」「病態系」「臨床歯学系」「医学系」の各プラットフォームに所属する教員からそれぞれの研究内容について講演があり、参加者は各研究について興味深い様子で聞き入っており、質疑応答では活発に意見が交わされました。



口腔医学
研究センター
ホームページ



11 Campus News

第50回
福岡歯科大学学会
総会・学術大会

2023年12月10日、50周年記念講堂において第50回福岡歯科大学学会総会・学術大会(大会長:福岡歯科大学口腔・顎顔面外科学講座口腔外科学分野池邊哲郎教授)が開催されました。シンポジウム、一般口演、ポスター発表のほか、川原尚行氏(認定NPO法人ロシナンテス理事長)による「アフリカの地域医療―ロシナンテスの軌跡と構想―」と題した特別講演などが行われました。学会賞授与式も開催され、学会賞には内藤徹氏(高齢者歯科学分野教授)と加我公行氏(冠橋義歯学分野講師)が選ばれました。



OPEN CAMPUS

〔 福岡歯科大学・福岡医療短期大学 〕

オープンキャンパスを開催

福岡歯科大学・福岡医療短期大学でオープンキャンパスが開催され、各校の特色を活かしたプログラムが行われました。



福岡歯科大学

実施日 10月14日[±]

内容 入学者選抜の説明、施設見学、面接体験、個別進学相談コーナー、田の歯科祭参加

参加者の声

- ・「面接体験をとおして受験のイメージを具体的にもてました」(高校生)
- ・「きれいで明るい環境で学ぶことができそうです」(保護者)

福岡医療短期大学

実施日 10月14日[±]

11月 3日^{金・祝}

12月16日[±]

2024年 1月27日[±]

内容 入学者選抜の説明、歯科衛生士の業務についての説明、在学生との交流会、歯科衛生士体験など

参加者の声

- ・「歯科衛生士体験ができてとても楽しかったです」(高校生)
- ・「学生の方と1対1で回れて、質問しやすくて大変良かったです」(保護者)



今後のオープンキャンパス日程

福岡医療短期大学 2024年3月22日^金

※福岡看護大学のオープンキャンパスは2023年7月～8月に開催されました。当日の様子は、New Sophia120号および福岡看護大学ホームページにてご紹介しております。

福岡歯科大学長に高橋裕氏を再任

福岡歯科大学長の任期が令和6年1月31日で満了となるに伴い、令和6年1月22日開催の第598回理事会の議を経て、高橋裕氏の再任を決定いたしました。任期は令和6年2月1日から令和9年1月31日までとなります。

(略歴)昭和56年に福岡歯科大学歯学部を卒業、平成元年に歯学博士を取得し、福岡歯科大学助手、講師、助教授を経て、平成15年3月に福岡歯科大学有床義歯学分野教授に就任。平成30年2月からは第11代福岡歯科大学長に就任し、現在に至る。福岡歯科大学医科歯科総合病院副院長、福岡歯科大学学生部長、学校法人福岡学園(旧福岡歯科学園)評議員などを歴任。



本川 渉名誉教授が令和5年秋の叙勲受章

令和5年秋の叙勲において、福岡歯科大学名誉教授(元成育小児歯科学分野教授)本川 渉氏が、永年にわたる教育研究功労により「瑞宝小綬章」を受章されました。

本川名誉教授は、昭和48年5月から平成22年3月に定年退職されるまでの37年間、教育研究診療に大いに力を尽くされ、口腔歯学部門長や医科歯科総合病院院長を歴任されるなど、教育改革や病院改革に手腕を発揮されました。



寺尾 隆治福岡歯科大学同窓会最高顧問が令和5年秋の叙勲受章

令和5年秋の叙勲において、福岡歯科大学卒業生(1期生)で福岡歯科大学同窓会最高顧問(元佐賀県歯科医師会会長)寺尾 隆治氏が永年にわたる保健衛生功労により「旭日小綬章」を受章されました。

寺尾氏は、佐賀県歯科医師会で19年余りにわたって理事や会長を務められたほか、日本歯科医師会常務理事、日本歯科医師連盟副会長を歴任されました。この間、子どもたちの虫歯を予防するためフッ素の入った液体によるうがいの大切さを訴え続け、全国で初めて佐賀県内すべての小学校での実施につながりました。



教員紹介

《福岡歯科大学》

●細胞生理学分野 准教授 鍛冶屋 浩

福岡大学薬学部卒。福岡歯科大学口腔生理学助手、ソバーク大学訪問研究員。福岡歯科大学細胞分子生物学講座助教。講師を経て2024年1月1日に同大学細胞分子生物学講座細胞生理学分野准教授に昇任。博士(歯学)。



昇任

《福岡医療短期大学》

●歯科衛生学科 教授 馬場 篤子

福岡歯科大学歯学部卒(12期)。同大学大学院歯学研究科歯学専攻博士課程(小児歯科学)修了。同大学小児歯科学講座助手、同大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野講師。同大学医科歯科総合病院病院准教授。同大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野准教授を経て、2023年10月1日、福岡医療短期大学歯科衛生学科教授に昇任。博士(歯学)。



昇任

●歯科衛生学科 講師 森 沙耶香

福岡医療短期大学歯科衛生学科卒。同短期大学専攻科修了。福岡歯科大学医科歯科総合病院歯科衛生士部、福岡医療短期大学歯科衛生学科助教を経て、2023年10月1日、同学科講師に昇任。学士(口腔保健学)。



昇任

訪問歯科センター センター長・副センター長決定

2023年10月1日付で訪問歯科センター長・副センター長が次の通り決定しました。

《センター長》

●総合歯科学講座 訪問歯科センター 准教授

今井 裕子



《副センター長》

●総合歯科学講座 訪問歯科センター 講師 堤 貴司



福岡看護大学 新役職教員決定

2023年9月19日に開催された第595回理事会において、健康支援看護部門長に成人看護学分野 内田 莊平教授が選任されました。

《健康支援看護部門長》

●成人看護学分野 教授

内田 莊平







充実した日々、いろいろ。学園の様々な出来事をピックアップしてご紹介！



EVENTS RECORD

【イベントレコード】



2023年10月

- 12日  献体者慰霊祭・実験動物慰霊祭
- 14日  オープンキャンパス
- 14・15日  オープンキャンパス
- 14・15日 健康まると福岡学園
- 15日 地下鉄七隈線沿線3大学合同シンポジウム
- 29日  公開講座



2023年11月

- 3日  オープンキャンパス
- 9日  公開講座
- 9日 病診連携の会

2023年12月

- 2日  公開講座
- 16日  オープンキャンパス
- 28日 年末挨拶





2024年1月

- 4日 年頭挨拶
- 27日  オープンキャンパス
- 27・28日  第117回歯科医師国家試験

EVENTS CALENDAR

【イベントカレンダー（今後の予定）】

2024年2月

- 9日  第110回保健師国家試験
- 11日  第113回看護師国家試験
- 13日  共用試験CBT
- 18日  共用試験OSCE

2024年3月

- 3日  第33回歯科衛生士国家試験
- 7日  卒業式
- 8日  卒業式
- 9日  卒業式
- 15日  第117回歯科医師国家試験合格発表
- 22日  第110回保健師国家試験合格発表
- 22日  第113回看護師国家試験合格発表
- 26日  オープンキャンパス
- 26日  第33回歯科衛生士国家試験合格発表

2024年4月

- 4日  入学式
- 5日  入学式
- 6日  入学式



実験動物慰霊祭



献体者慰霊祭



ぺんぎん保育園の園児がハロウィンで仮装



学園敷地内で埋蔵文化財が出土



医療安全講習会



福岡看護大学 手術室見学実習

情報図書館マスコットキャラクターが決定

情報図書館では、マスコットキャラクターの募集を行い、選考の結果、矢田部 尚子さん（口腔保健学講座口腔健康科学分野助教）が制作したうさぎのマスコットキャラクターに決定しました。



クリニックからこんにちは!



御縁、出逢いに感謝!!

吉村 理恵(5期生)

こんにちは! 卒後40年、5期生の吉村理恵です。同級生の主人と共に、福岡県太宰府市にて、開業して36年になります。現在、7名のスタッフ(歯科衛生士6名、受付1名、他産休中3名)と共に楽しく診療に取り組んでおります。開業後はばくとして、インプラントの勉強をしたいと思い、糸瀬正通先生のセミナーを受講いたしました。今でこそ大学でインプラントの講義がありますが、当時は開業医主体のセミナーを受講しなければインプラントはできない時代でした。そのセミナー受講からご縁をいただき、スタディグループにいられたいただき、素晴らしい恩師や仲間と出会うことが出来ました。国内の学会やセミナーだけでなく、海外の学会やセミナーにも参加させていただきました。

臨床に携わっていると、患者様の口腔内は複雑で、エンド、ペリオ、補綴、矯正、インプラントと総合力が必要になります。自分の出来る限りの力で患者様の治療にあたりたいという願望から、CT、マイクロ、k7、ウォーターレーザー、アイテロなど新しい機材や器具などもどんどん取り入れて、貪欲に勉強していったように思います。ただ、それは辛いというより、スタディクラブの仲間と一緒にだったので、とても楽しく充実しております。

現在は、恩師である故下川公一先生の勧めで立ち上げたWDC(Women Dentists Club)を中心に活動させていただいて早15年になります。2023年の6月から会長を務めさせていただいております。今後は、今まで育てていただいた恩師の方々への恩返しという気持ちで、若い先生方の育成に取り組んでいきたいと思っております。



リアル・オンデマンド開催でさらに充実した学びへ

西耕作(15期生)

今年度の同窓会主催臨床スキルアップセミナーは久しぶりのリアル開催になり、現地で顔を向き合わせ、空気感を感じながら以前と同じ状況を取り戻すことができました。リアルでは講演後の質疑応答でのやりとりがWEBと異なり、熱の入った意見も出て、さらに学び吸収するものが多いと感じます。咬合・審美・インプラント・訪問と4回の開催で、大学から1名、開業医2名と各テーマに応じた内容で、毎回内容が素晴らしく時間の経過を忘れるほどです。

スキルアップセミナーは卒後間もない先生から経験豊富な先生に対し、日常臨床でのさらなる気づき、精度の向上、目的意識、モチベーションアップができるよう毎年企画しております。

また、オンデマンド配信も同時に行っており、約2週間見直すことが可能となっております。同窓会学術事業はホームページでも案内されていますのでご覧いただくと嬉しく思います。



同窓生からの手紙

「九地連in宮崎」開催報告

宮崎県福岡歯科大学同窓会専務理事
小田 瑞恵(12期生)

「第75回九州歯科大学大会に伴う福岡歯科大学同窓会懇親会in宮崎」を、令和5年10月21日に宮崎観光ホテル3階「碧翠耀の間」にて開催いたしました。

新型コロナウイルスも5類となり、4年ぶりに制限のない懇親会開催となりました。宮崎県独自の判断で全都府県の同窓会会長先生方にお声掛けをし、九州外からの先生方も含め、1期生から41期生までの総勢170名に及ぶ先生方にご出席していただきました。

久しぶりに会う同級生や先輩・後輩を見つけては、あちらこちらで笑い合う声が聞こえる大変賑やかな懇親会となりました。宮崎の食材を使用した郷土料理や、ご当地自慢の焼酎は楽しんでいただけたでしょうか? 懇親会終了後は、卒期別に三会場に分かれての二次会開催となり、こちらも大いに盛り上がったようです。改めて、福岡歯科大学同窓会の団結力を再確認した夜となりました。

県外よりご出席いただきました先生方には、宮崎にご参集いただきましたこと心より感謝申し上げます。九州8県8年に一度巡ってくる九地連。宮崎県同窓会黒木会長のもと、ご出席いただく先生方に「心のこもったおもてなし」をしたいと宮崎県同窓会会員が一つになれたことは、大変嬉しく思っています。今回は、沖縄の皆様とお会いできるのを楽しみにしています。

卒業生
NOW

歯科と育児と プライベート

山本エレナ(21期生)

写真は、先日行われた日本アンチエイジング歯科学会での登壇した時のものです。現在は、開業医として診療する傍ら、学会発表やセミナーでの講演活動、SNSや媒体でライフスタイルの発信をしています。

卒後研修、勤務医を経て、30代で結婚、出産を経験しつつ、父の医院を継承し今に至ります。実は、歯科医師と並行してサンバチームのリーダーでもありました。

令和の時代になっても女性が自分の仕事だけに集中するのは様々なハードルがありますね。女性が資格を持つことは、人生を安定して充実させる上で確かな頼りとなります。何を優先するかは人それぞれで、どの道を選んでも学びがあります。私の場合は全部やりたいので(笑)、多少の無理はしています。なんとかがやいているのは周りの人の支えと健康のおかげです。中でも、6年生の娘にはずっと寂しい思いをさせていると思いますが、働く女性になりたいと言ってくれて、大きな励みとなっています。勉強会や学会に参加することで、素晴らしい先生方とのご縁をいただき、自分の力を大きく引き出してもらっています。治療の技術や知識だけでなく、プライベートの経験も治療の質を向上させる歯科医師という仕事。これからさらに深みを増すのが楽しみです。患者さんを癒し、私も癒されながら、人として歯科医師として毎日を楽しんでいます。



看護大学 だより

#27

新しい学び・人・キャンパス
福岡看護大学の魅力を
ご紹介します！



こんにちは、福岡看護大学 教育支援・教学ⅠR室です

室長 荒川 満枝

福岡看護大学では、開学5年目の令和3年4月に教育支援・教学ⅠR室を開室し、今年3年目となりました。私たちの使命は、学内の様々なデータを使って、本学の教育や学生支援に関する特徴や、良いところ、改善すべきところは何かを分析して、教職員の皆様や学生さん、そして地域のみなさんに、分かりやすく、タイムリーにお伝えすることです。時には、必要となるデータ収集の段階から携わることもあります。

初代室長の大久保つや子先生は、歯科大・短期大学ⅠR室と情報連携しながら、入学試験や看護師国家試験対策に関する検証や学修成果の可視化などに取り組み、本室の基礎を築いてくださいました。それらの取り組みを引き継ぎながら、日々、新たな教育改善に取り組んでいるところです。

看護は、人が人をケアする古い歴史を

持つ文化ですが、学問分野としては新しく、毎年新設大学ができています。沢山の看護系大学がある中で、福岡看護大学らしさを発揮できるように、学生さんが学修に挑戦・成長しやすい大学となるように、先生方の素敵なところを前面に出せるような大学となるように、データに基づく提案をしていきたいと思っています。



短大 VOICES

#27

夢を叶える場所
「福岡医療短期大学」
多くの出会い・絆を育んでいる
短大の情報をお届け！



森沙耶香

福岡医療短期大学 講師

私は、高校2年生の時、本学のオープンキャンパスに参加し、将来は短大の先生になる！と心に決めてから現在教員6年目を迎え、10月に講師に就任しました。

学生に教育する上で心がけていることの一つに、山本五十六さんの格言『やってみせ、言つて聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ。』があります。最近の学生は、教員のことをよく見えています。いい加減に指導すると、すぐ学生との関係性が崩れることから、学生のお手本となるような教員になつているか、常に自分に問いかけています。言うは易しですが、非常に難しく、学生、学年ともに毎年多様な個性を発揮しますので、毎度四苦八苦しています(笑)。

そんな私は現在、臨床実習に関する研究をしています。学内・学外実習内容の整合比較を行い、臨床実習の弱点を検証しました。今後は、学外実習先の選定・基礎実習内容の見直しを目標とし、日々精進していきます。



学生からのメッセージ

学園祭を終えて

福岡歯科大学 第5学年
森 亮太



大学1年の時に学園祭に参加して以来、4年ぶりの学園祭を実行委員長として経験して、普段の学園生活では身近にない大学や地域の方々と連携を感じることができたのは、自分にとって大きな経験になりました。

これまで中学・高校と何かと人の前に立つことをしてきましたが、物事を進める上で様々な企業さんと共に物事を進めていくことは初めてで、委員長としての責任を持ち行動することの大切さを知りました。

また、今回の学園祭は久しぶりの開催となったため、引き継ぎ資料に頼らない形で、学園祭を計画する流れになりました。進行していく上で様々な課題が浮き彫りになりましたが、自分たちでこれから作りあげた学園祭を終えた時、今までにない達成感を感じました。

私は今年度の田の歯科祭、また実行委員長という経験を通して学んだことがあります。それは同じチームの仲間を頼ることの大切さです。今までは部活動などでやらなければならぬことをなんでも一人で抱え込んでやることも多々ありました。ですので実行委員のみんなに仕事を任せることに迷いがありましたが、みんなで作業することによって自分自身の重荷はもう軽くなり、実行委員のみんなの尽力のおかげで、田の歯科祭の準備を円滑に進めることができました。

難しいことも楽しいこともありながら自分の成長へとつながる大きな経験ができたことを嬉しく思います。学園祭に関わってくださった全ての皆様に心より感謝いたします。ありがとうございました。

保護者からのメッセージ

歯科医師の道への一歩

福岡歯科大学 学生後援会理事・評議員
長友 信樹



2023年の5月から新型コロナウイルスの5類感染症への移行により、ようやく学生さん達のキャンパスライフも充実していることと拝察いたします。

歯科大の学び舎で歩む旅路に心から応援を送ります。歯科医の道は、誇りと使命に満ちています。過去の努力と今の一歩、苦労が将来の輝かしい成功への礎となります。困難があっても、それは成長の機会にしてください。知識や技術だけではなく、人としての深い思いやりを身につけ、患者さんたちの健康な笑顔を取り戻す手助けができる事が歯科医師として重要です。柔軟で洞察力のあるプロフェッショナルリズムを追求し、患者さんに信頼される歯科医師を目指してください。知識と技術を磨くことで、歯科医師としての役割を果たしていくことでしょう。また、同じ夢を抱く仲間たちと絆を深め、お互いに励まし合いながら6年間の学生生活を有意義な物にして頑張ってください。これからの歯科医療の新しい時代に向けて、勇気を持って前進してください。

編集後記

新しい年が始まりました。今年は辰年ということで私たちも上昇気流に乗っていききたいものです。New Sophia 121号には新年にふさわしい情報がたくさん詰まっています。また、「健康まるごと福岡学園」など各種イベントに関する話題も掲載されています。外は寒いですが、暖かいお部屋でゆっくりとご覧いただけたら幸いです。



まだ花の少ない早春の山野で目を楽しませてくれるのがミツマタ (Edgeworthia chrysantha「ジンチョウゲ科」)。葉が出る前に球状に集まった黄色い花を枝先に付けて、甘い香りとともに春の訪れを知らせてくれる。

その名のとおり、枝が必ず3つに分かれる性質を持つ。樹皮は繊維が強く、クワ科のコウゾなどとともに和紙の原料に用いられるのはご存じのとおり。中国中西部、南部、ヒマラヤの原産で、関ヶ原の戦いの頃に和紙の原料として渡来したとする説があるが、万葉集には「春されば ます三枝の 幸くあれば 後にも逢むな恋ひそ吾妹」という柿本人麻呂の恋歌があることから、紙の国産化が始まった奈良時代後期には定着していた可能性がある。

現在は紙幣の原料としても使われている。岡山、徳島、島根が生産地であるが、近年は過疎化のために生産量が減少し、9割がネパールから輸入されているという。技能実習生とともに、ネパールに日本の経済基盤がお世話になっている例である。

(内藤 徹)

New Sophia
コラム

ミツマタ

入学者選抜日程

福岡歯科大学

区分	一般選抜A日程	大学入学共通テスト 利用選抜1期	一般選抜B日程	大学入学共通テスト 利用選抜2期	総合型選抜3期	大学入学共通テスト 利用選抜3期
	※併願可 東京・大阪試験場設置		※併願可			
募集人員	約40名	約5名	約20名	約5名	約3名	約3名
出願受付期間	R6.1.4(木)～1.31(水)		R6.2.5(月)～2.28(水)		R6.3.4(月)～3.18(月)	
試験日	R6.2.3(土)		R6.3.2(土)		R6.3.20(水・祝)	
合格発表日	R6.2.6(火)		R6.3.5(火)		R6.3.21(木)	

福岡歯科大学大学院

区分	三次募集
募集人員	若干名
出願受付期間	R6.2.21(水)～3.6(水)
試験日	R6.3.8(金)
合格発表日	R6.3.22(金)

問合せ先

〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡歯科大学学務課入試係
TEL.092-801-1885(直通) FAX.092-801-0427
●ホームページURL <https://www.fdcnet.ac.jp/col/> ●E-mail nyushi@fdcnet.ac.jp

福岡看護大学

区分	一般選抜前期日程	大学入学共通テスト利用選抜 I期	一般選抜後期日程	大学入学共通テスト利用選抜 II期
募集人員	約45名	約5名	約5名	若干名
出願受付期間	R6.1.4(木)～1.29(月)		R6.2.8(木)～2.22(木)	
試験日	R6.2.7(水)	大学独自の試験は課さない	R6.3.4(月)	大学独自の試験は課さない
合格発表日	R6.2.19(月)		R6.3.11(月)	

問合せ先

〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡看護大学事務課
TEL.092-801-0486(直通) FAX.092-801-0412
●ホームページURL <https://www.fdcnet.ac.jp/ncol/> ●E-mail knyushi@fdcnet.ac.jp

福岡医療短期大学

【歯科衛生学科】

区分	総合型選抜・社会人総合型選抜試験日程		一般選抜	
	Ⅶ期	Ⅷ期	A日程	B日程
募集人員	I～Ⅶ期 約37名(社会人 各期若干名)		10名	3名
出願受付期間	R6.2.1(木)～2.14(水)	R6.2.19(月)～3.13(水)	R6.1.9(火)～1.30(火)	R6.2.19(月)～3.13(水)
試験日	R6.2.16(金)	R6.3.15(金)	R6.2.1(木)	R6.3.15(金)
合格発表日	R6.2.22(木)	R6.3.21(木)	R6.2.8(木)	R6.3.21(木)

問合せ先

〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡医療短期大学入試係
TEL.092-801-0439(直通) FAX.092-801-4473
●ホームページURL <https://www.fdcnet.ac.jp/jcol/> ●E-mail gakumuj@fdcnet.ac.jp

【注】総合型選抜・社会人総合型選抜については、希望により上記以外の日程で実施することがあります。詳細は入試係までお問合せください。